

フェリス女学院大学

2025 年度 学生募集要項

特別選抜
編入学試験

文学部

国際交流学部

音楽学部

目 次

■ 入学試験概要	1	IV. 合格発表・入学手続	8
出願資格		1. 合格発表	
		2. 入学手続	
I. 入学試験詳細	2	V. 学生納付金	9
		1. 3年次編入	
II. 出願	3	2. 2年次編入	
1. Web出願の流れ		3. その他	
2. 必要書類		VI. 入学手続後の入学辞退	11
3. 出願上の注意		VII. 単位認定・編入学後の履修	12
4. 書類提出上の注意		VIII. 試験会場	13
III. 受験票・受験上の注意	6	■ 入学者受入れの方針	
1. 受験票の交付		(アドミッション・ポリシー)	14
2. 試験当日の注意			
3. 試験室・試験時間における注意			
4. 不正行為			
5. その他			

個人情報及び提出書類の取扱いについて

出願及び入学手続に当たってお知らせいただいた個人情報及び提出書類（以下、当該個人情報とする。）は、出願処理、入学試験実施、合格発表、入学手続、入学後の学生生活全般にわたる指導や相談、本人宛調査、個人が特定されない形式・方法（匿名加工情報）による統計資料の作成・利用（各学部等カリキュラムの検討、入学者選抜方法の検討等）、各種事務連絡及びこれらに付随する事項を行うために利用します。

なお、これらの業務の一部を、フェリス女学院大学から当該業務の委託を受けた業者において行う場合があります。業者委託に当たっては、個人情報の安全管理が図られるよう、委託業者に対する必要かつ適切な管理を行います。

また、当該個人情報を、その他の目的で第三者へ提供するのは、次の場合のみといたします。

- (1) 本学入学後、各種連絡通知等に使用するために本学学生組織、奨学会、同窓会、維持協力会に提供する場合
- (2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合

フェリス女学院大学 2025年度 入学試験概要

募集学部・学科・募集人員

学 部	学 科	募集人員（3年次）	募集人員（2年次）
文	英 語 英 米 文	若干名	—
	日 本 語 日 本 文	若干名	若干名
	コミュニケーション	若干名	—
国 際 交 流	国 際 交 流	若干名	4名
音 楽	音 楽 芸 術	若干名	若干名

入学時期 2025年4月

編入学試験について

編入学試験は、短期大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程を卒業した者や、同一若しくは異なる学士の学位を取得するために他大学から転学し、年次の途中（3年次・2年次）からの入学を希望する者を受け入れることを目的として、当該学科のカリキュラムで学ぶ基礎学力を有し、明確な志望動機を持つ者を対象として行われるものです。

出願資格

【3年次編入学】

次のいずれかの要件に該当する女子で、2025年3月31日までに満20歳に達するもの。

- (1) 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者（2025年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 大学に2年以上在学し（在学見込みも可）、62単位以上を修得した者（2025年3月修得見込みの者を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む。）
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む。）
（文部科学大臣が指定した外国の大学又は短期大学の日本校を含む。）

【2年次編入学】

次のいずれかの要件に該当する女子で、2025年3月31日までに満19歳に達するもの。

- (1) 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者（2025年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 大学に1年以上在学し（在学見込みも可）、30単位以上を修得した者（2025年3月修得見込みの者を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む。）
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者（2025年3月修了見込みの者を含む。）
（文部科学大臣が指定した外国の大学又は短期大学の日本校を含む。）

〈共通事項〉

- ※出願資格(1)～(3)については、日本国内の教育機関に係る要件です。
- ※提出された出願書類等の確認の結果、出願資格を満たしていない場合は、受験できません。
- ※卒業・修了、在学年数及び単位修得等について「見込み」で受験した者が試験に合格して入学手続を完了した場合であっても、2025年3月末までに入学資格を満たせなかった場合は、入学許可を取り消します。
- ※在学期間に休学期間を含みません。

1. 入学試験詳細

(1) 入試日程

学部	学科	入試日程			
		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期限 (納付金納入)
文	英語英米文	Web出願登録期間 2024年11月1日(金) 9:00) 2024年11月7日(木) 21:00 入学検定料支払期限 2024年11月7日(木) 22:00 必要書類郵送期限 2024年11月7日(木) 消印有効	12月7日(土)	12月12日(木)	12月18日(水)
	日本語日本文				
	コミュニケーション				
国際交流	国際交流				
音楽	音楽芸術				

(2) 選考方法

学部	学科	内容
文	英語英米文 3年次	1. 小論文 2. 学科試験：英語〈辞書持ち込み不可〉* 3. 面接
	日本語日本文 3年次・2年次	1. 小論文 2. 学科試験：国語 3. 面接
	コミュニケーション 3年次	1. 小論文 2. 学科試験：英語〈辞書持ち込み不可〉* 3. 面接
国際交流	国際交流 3年次・2年次	1. 小論文 2. 学科試験：英語〈辞書持ち込み不可〉* 3. 面接
音楽	音楽芸術 3年次・2年次	1. 小論文 2. 学科試験：音楽の基礎知識 3. 面接

*外国籍の受験者（日本に永住権を持つ者を除く）は、英語に代えて日本語〈辞書持ち込み不可〉を選択受験することができる。出願時に選択し、受験すること。

*出身国（地域）の公用語が英語の場合は、日本語〈辞書持ち込み不可〉を選択すること。

(3) 試験会場・試験時間割

試験会場：本学緑園キャンパス

学部	学科	試験時間割	
文	英語英米文	9:00 9:50 10:00~11:00 11:20 11:30~12:30 13:50 14:00~	開場 集合 小論文〈60分〉 集合 学科試験〈60分〉 集合 面接
	日本語日本文		
	コミュニケーション		
国際交流	国際交流		
音楽	音楽芸術		

※面接の試験時間については、試験当日、別に指示する場合があります。

(4) 入学検定料

35,000円

II. 出願

1. Web出願の流れ

パソコン・スマートフォン等からインターネットを通じて出願登録を行います。

3年次編入学試験（指定校制）の出願登録には、パスワードの入力が必要です。パスワードは、各対象機関あてに送付した入学試験詳細（別紙）を参照してください。

【受験ポータルサイト（Post@net）の利用について】

本学では出願において、受験ポータルサイト「**Post@net**（ポスタネット）」を使用します。

Post@netでは、「新規登録」または「アカウント作成」ボタンからアカウントを新規登録の上出願すると、出願状況や受験票の印刷、合否照会や入学手続の一部をWeb上で行うことができ、大学からのメッセージの受取りや、出願・手続スケジュールも確認することができます。

出願に当たっては、Post@netでのアカウントの新規登録が必須となります。



Post@netに関する問い合わせはポータルサイト内に掲載されている「よくあるご質問」を読み、それでも解決しない場合は同ページ下部の問い合わせフォームよりお問い合わせください。

登録はこちらから
<https://home.postanet.jp/>

STEP1 事前準備

- ①Post@netに新規登録してください。
- ②出願に必要な書類（5ページ参照）、本人写真データ（ファイル形式：JPEG）をご用意ください。
- ③@postanet.jpと@ferris.ac.jpの両方からメールが受信できるよう、あらかじめ設定をしておいてください。
 出願登録完了後・入学検定料納入後に確認メールが送信されます。

STEP2 Web出願サイトにアクセス

本学公式サイト（<https://www.ferris.ac.jp/admission/>）より、Web出願サイトにアクセスしてください。

STEP3 出願情報を入力

志望する入試種別、学部・学科等を選択してください。
 入学検定料も確認できます。

STEP4 個人情報を入力

画面の案内に沿って、入力してください。
 ※住所は日本国内かつ郵便物を確認できる住所を入力してください。

STEP5 出願内容の確認

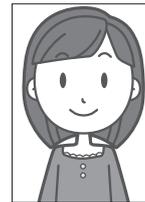
入力した出願情報（STEP3）と個人情報（STEP4）について、確認してください。

STEP6

写真のアップロード

本人写真データ（ファイル形式：JPEG）を出願登録画面の案内に沿ってアップロードしてください。

- ※3MBを超える写真は登録できません。
- ※本人写真データは、画面上でサイズを調整して登録することができます。
顔をはっきり写るよう、適宜調整してください。
- ※出願写真として適切でないと判断された場合（制服での撮影等）は、再度提出になることがあります。
- ※入学が許可された場合は、学生証の写真として使用します。



❗ 使用不可な写真の一例

- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| × 制服での撮影 | × 3か月以上前に撮影 | × 顔の一部が切れている |
| × 不鮮明である | × 髪で目や顔の輪郭が隠れている | × 画像に加工を施している |

STEP7

出願登録完了

入学検定料支払（コンビニ・Pay-easy）のため決済番号が発行されるので、画面を印刷するか、各番号（オンライン決済番号、お客様番号、確認番号、払込票番号等）をメモしてください。

※出願登録完了後、入学検定料の支払い前に登録内容の誤りに気づき、変更したい場合は、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度最初から出願登録を行ってください。

STEP8

入学検定料支払方法の選択

下記のいずれかの支払方法を選択してください。

- コンビニエンスストア
（セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアー、セイコーマート）
- 金融機関ATM (Pay-easy)
- クレジットカード
（VISA、master card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）

各支払方法の詳細は、Post@netの「学校一覧」から本学の「はじめに」ボタンをクリックして確認してください。

※入学検定料納入後の志望学科・入試種別の変更・追加は認めません。

※入学検定料とは別に、1回の出願ごとに支払手数料が発生します。また、ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。

※コンビニエンスストア、金融機関ATM (Pay-easy) で支払った際の領収書、ご利用明細票は大切に保管してください。

※如何なる場合も本学から領収書の再発行はいたしません。

STEP9

必要書類の郵送

宛名ラベルを印刷し、角形2号（240mm×332mm）の市販の封筒に貼付してください。

宛名ラベルは、Post@netの「出願内容一覧」から「出願内容を確認」ボタンを選択した後に、ダウンロードが可能となります。

封筒には次の必要書類を封入し、簡易書留速達で郵送してください。

※宛名ラベルが印刷できない場合は封筒の裏面に、入試種別・出願登録番号・氏名（漢字・カタカナ）・本人連絡先住所・電話番号を記入してください（宛名ラベルを貼付する場合は、記入不要）。

「入学試験必要書類在中」と封筒左下に朱書きの上、下記の書類送付先に郵送してください。

封入する 必要書類

- 出願資格を証明する書類（卒業・修了（見込）証明書等）
- その他必要書類（※5ページ）

書類送付先 <簡易書留速達>

〒245-8650
横浜市泉区緑園4-5-3 フェリス女学院大学 入試課

STEP10

出願手続完了

[STEP1]～[STEP9]をすべて出願期間内に完了することによって、出願が正式に受理され、受験票（交付については6ページをご覧ください。）が発行されます。

出願登録・入学検定料支払い・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けられません。

出願の期限については、「出願期間」を十分に確認の上、余裕をもって出願してください。

2. 必要書類

提出する必要書類は以下の通りです。

書類名	注意事項	
履歴・経歴書〈所定用紙〉	所定用紙内の指示を読んで、記入してください。	
志望理由書〈所定用紙〉	所定用紙内の指示を読んで、記入してください。	
必要書類封入チェックリスト〈所定用紙〉	封入する書類にチェックを入れ、署名の上、同封してください。	
出願資格を証明する書類 ※2024年10月1日以降に作成されたもの。 (既卒者は卒業後に発行されたものでよい。)	1. 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校等卒業・修了者 大学2年次修了（3年次編入の場合は62単位以上修得）者 大学1年次修了（2年次編入の場合は30単位以上修得）者 ① 卒業（修了）証明書又は在学証明書 ② 単位修得・成績証明書 2. 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校等卒業・修了見込者 大学2年次修了（3年次編入の場合は62単位以上修得）見込者 大学1年次修了（2年次編入の場合は30単位以上修得）見込者 ① 卒業（修了）見込証明書〈卒業年次に至らない者は在学証明書〉 ② 単位修得・成績証明書及び履修中の科目の単位修得見込証明書	
選考資料 ※日本語日本文学科3年次編入志願者のみ	専攻しようとする分野に関するレポート（2,000字程度） 3部提出。パソコン等を使用し、A4サイズ横書きで作成すること。卒業論文（日本語日本文学に関するもの）の要約等も可。	
外国人留学生のみ	住民票の写し（原本。コピー不可） 又は在留カードのコピー	在留カードは、A4サイズ用の紙で、 <u>両面をそれぞれ150%に拡大コピーしたものを</u> 提出してください。
	パスポートのコピー	A4サイズの用紙で、氏名、顔写真、旅券番号等の記載があるパスポートのページをコピーしたものを提出してください。

出願

3. 出願上の注意

- 出願を受理した後は、理由の如何を問わず、入学検定料は返還しません。
- 入学検定料納入後の志望学科・入試種別の変更・追加は認めません。
- 同日に行われる他の入学試験との併願はできません。
- 身体の障がい等により、通常の受験が困難な場合及び入学後の就学について特別な配慮を必要とする場合は、2024年9月13日（金）までに入試課にご相談ください。なお、事前相談のため、必要に応じて診断書等の提出を求める場合があります。
- 出願資格を証明する書類に虚偽の記載等不正があった場合又は出願資格に該当しない事実が判明した場合は、受験を認めません。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消します。
- 2025年3月末までに、入学資格を満たせなかった場合は、入学許可を取り消します。
- 外国人留学生が、本入学試験に出願を希望する場合は、出願資格を確認するとともに、必要書類以外の書類の提出を求めます。あらかじめ入試課まで問い合わせてください。入学後の奨学金制度等についてもご案内します。

4. 書類提出上の注意

- 必要書類は、**黒色のボールペン**（消せるボールペンは不可）を使用し、志願者本人が楷書で正確に記入してください。記入する必要書類は、すべてA4サイズ片面で印刷してください。
- ※印の欄は記入しないでください。その他は記入もれがないよう注意してください。
- 記入を間違えた場合は、=（二重線）を引いて印鑑を押し、余白に正しく書き直してください。
- 記入上、疑問な点がある場合には、入試課に問い合わせてください。
- 証明書類と現在の姓が異なる場合は、改姓を証明する書類（戸籍記載事項証明書又は戸籍抄本）を添付してください。
- 消印のないものは受理しません。また、受理した後は、原則として必要書類は返却しません。

日本語又は英語以外の言語で記載された証明書・資料等には、出身校又は公的機関等（日本語教育機関も可）の証明を受けた日本語又は英語の訳文を添付してください。

Ⅲ. 受験票・受験上の注意

1. 受験票の交付 ※受験票の郵送はありません。

受験票は志願者全員の入学試験必要書類受付処理後、一括してPost@netにて通知します。

受験票は、Post@netの「出願内容一覧」より各自でダウンロードし、印刷して試験当日持参してください。

※A4サイズの白色コピー用紙で印刷してください。カラー・白黒は問いません。なお、表面・裏面ともに一切の書き込み等を禁止します。

受験票の通知予定日

編入学試験	12月5日(木) 夕方
-------	-------------

2. 試験当日の注意

- (1) 試験会場（緑園キャンパス）までの経路、所要時間等を事前によく確認してください。開場は、午前9時です。
※山手キャンパスでは入学試験を実施しません。
- (2) 試験室案内は、試験当日に掲示します。その際、座席番号で指示します。
- (3) 受験票は、必ず携帯し、試験会場へ入構の際、受付で受験票を提示してください。
- (4) 受験票を当日持参しなかった場合は、本人が受付に申し出てください。
- (5) 試験会場には、受験者以外の立入を禁止します。
- (6) 駐車場は使用できませんので、車による試験会場への入構は禁止します。
- (7) 本学では宿泊施設の斡旋は行いません。
- (8) 昼食が必要な場合は、各自で用意してください。食堂は営業していません。

3. 試験室・試験時間における注意

- (1) 試験時間割に従って指定された各試験等をすべて受験しなければなりません。指定された試験を1つでも受験しなかった場合は、選考の対象外となります。
- (2) 試験室内及び試験時間中は、すべて監督者・係員の指示に従ってください。病気又は事故のあった場合は、監督者・係員に申し出てください。
- (3) 試験時間中に監督者が写真照合（本人確認）を行います。マスクを着用している場合、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

筆記試験について

解答の記入に当たっては、正確かついいねいに記入してください。数字や英字等が判読できない場合は、採点の対象となりません。また、指定されていない問題を解答した場合も採点しません。

- (1) 試験室では、受験票と筆記用具、時計のみを机の上に置き、その他の持ち物は指定された場所に置いてください。
- (2) 試験時間中に使用が認められるものは、HBの黒鉛筆（和歌や格言等が印刷されているものを除く。）、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（時刻表示以外の機能を有するもの、及びその有無が判別しづらいものは不可）のみです。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、必ずアラームや通知等の設定を解除し、電源を切って、かばんに入れておいてください。
- (4) 試験時間中、使用を認められていないもの（下敷き、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、携帯音楽プレーヤー等の電子機器類、参考書等）をかばんにしまわず、身に付けたり、手に持ったり、机の上に置いたり、使用したりしてはいけません。
- (5) 耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- (6) 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
- (7) ティッシュペーパー、ハンカチ、座布団、ひざ掛け、目薬を使用したい場合は、監督者に確認してください。
- (8) 試験開始後20分を過ぎると試験室に入室できません。

面接試験について

- (1) 集合時刻までに、試験当日指示する集合場所に入室し、着席してください。
- (2) 面接の試験順は座席番号順とは別に定めます。
- (3) 点呼・誘導は座席番号で行います。
- (4) その他詳細については、試験会場内での指示に従ってください。

4. 不正行為

次のいずれかに該当する場合、不正行為となることがあります。不正行為とみなされた場合、失格となり、選考の対象外となります。

- (1) 受験者以外の者が、試験を受けること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピー等を机の上に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- (4) 監督者・係員の指示なく、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (5) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたりすること。
- (6) 試験終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- (7) 使用を認められていないものを指示された場所に置かず、身に付けたり、机の上に置いたり、使用したりすること。
- (8) 試験時間中に、使用を認められていない機器の音を鳴らすこと。
- (9) 他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (10) 監督者・係員の指示に従わないこと。
- (11) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

5. その他

天候不順、交通機関の大規模な混乱等不測の事態が発生した場合は、試験時間等を変更することがあります。

その場合は、本学公式サイトやPost@netで情報をお伝えします。

試験当日の連絡先

入試課 045-812-9183

【感染症に関する注意事項】

試験当日、学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則の規定によるインフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘等）にかかり、治癒等による出席停止の期間が経過していない受験者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、症状により医師等において伝染の恐れがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

Ⅳ. 合格発表・入学手続

1. 合格発表

発表方法

- (1) Post@netの「出願内容一覧」から「合否結果照会」ボタンをクリックして確認してください。
- (2) 「合格通知書」の郵送は行いません。合格者は、Post@netから合格通知書をダウンロードし、各自で印刷の上、保管してください。
- (3) Post@netの掲載は、合格発表日の12:00からです。

注意事項

- (1) 合格者には、Post@netの「合否結果照会」ページに「入学の手引き」及び「入学手続時納付金振込用紙」を掲載します。詳細は「2. 入学手続」を参照してください。
- (2) 電話等による合否問い合わせ及び合格通知書の大学窓口での交付には、一切応じられません。
- (3) Post@netの「合否結果照会」ページにおける誤操作・見間違い・使用機器の不具合・通信障害等を理由とした入学手続期間の延長は認められないので、十分注意してください。

2. 入学手続

合格者は、

①入学手続時納付金の納入

②入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出

を所定の期間内に行ってください。

入学手続に関する詳細は、Post@netの「合否結果照会」ページに掲載する「入学の手引き」に記載します。

なお、上記①及び②を完了した時点で、入学を許可します。

①入学手続時納付金の納入

納入方法：金融機関（ゆうちょ銀行【郵便局】を除く。）窓口振込のみ

「入学手続時納付金振込用紙」〈本学所定様式〉を使用し、期限までに納入してください。一括で入学手続時納付金を納入してください。期間内に納入手続が行われないと、入学の意思がないものとみなし、入学を許可しません。

延納（手続期間の延長）、決められた方法以外の納入はできません。

「入学手続時納付金振込用紙」の郵送は行いませんので、Post@netの「合否結果照会」ページからダウンロードし、各自で印刷してください。

②入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出

入学手続時納付金の納入とあわせて、入学手続情報の入力・入学前手続書類の提出を決められた期間内に済ませてください。

「入学前手続書類」を含む入学手続関係書類の郵送は行いませんので、Post@netの「合否結果照会」ページに掲載する「入学の手引き」を参照してください。

V. 学生納付金

1. 3年次編入

<文学部・国際交流学部>

(単位：円)

		入学手続時納付金	後期 納付金	初年度 年間納付額	4年次 年間納付額
入学金		200,000		200,000	
学納金	授業料（基本額）	412,500	412,500	825,000	825,000
	施設設備費	142,500	142,500	285,000	285,000
その他諸経費	学友会費	3,000		3,000	3,000
	奨学会費	5,000		5,000	5,000
	学会費（2年分）	5,000		5,000	
	学生教育研究災害傷害保険料（2年分）	1,750		1,750	
納付総額		合計 769,750	555,000	1,324,750	1,118,000

<音楽学部>

(単位：円)

		入学手続時納付金	後期 納付金	初年度 年間納付額	4年次 年間納付額
入学金		200,000		200,000	
学納金	授業料（基本額）	432,500	432,500	865,000	865,000
	施設設備費	220,800	220,700	441,500	441,500
その他諸経費	学友会費	3,000		3,000	3,000
	奨学会費	5,000		5,000	5,000
	学会費（2年分）	10,000		10,000	
	学生教育研究災害傷害保険料（2年分）	1,750		1,750	
納付総額		合計 873,050	653,200	1,526,250	1,314,500

2. 2年次編入

<文学部日本語日本文学科・国際交流学部>

(単位：円)

		入学手続時納付金	後期 納付金	初年度 年間納付額	3年次以降 年間納付額
入学金		200,000		200,000	
学納金	授業料（基本額）	412,500	412,500	825,000	825,000
	施設設備費	142,500	142,500	285,000	285,000
その他諸経費	学友会費	3,000		3,000	3,000
	奨学会費	5,000		5,000	5,000
	学会費（3年分）	7,500		7,500	
	学生教育研究災害傷害保険料（3年分）	2,600		2,600	
納付総額	合計	773,100	555,000	1,328,100	1,118,000

<音楽学部>

(単位：円)

		入学手続時納付金	後期 納付金	初年度 年間納付額	3年次以降 年間納付額
入学金		200,000		200,000	
学納金	授業料（基本額）	432,500	432,500	865,000	865,000
	施設設備費	220,800	220,700	441,500	441,500
その他諸経費	学友会費	3,000		3,000	3,000
	奨学会費	5,000		5,000	5,000
	学会費（3年分）	15,000		15,000	
	学生教育研究災害傷害保険料（3年分）	2,600		2,600	
納付総額	合計	878,900	653,200	1,532,100	1,314,500

パフォーミング・アーツ科目を履修する場合は、下記の実技料を別途納入する必要があります。

	科 目 名	時間数	実技料
個人	PA個人実技15	週15分×15回	50,000円
	PA個人実技30	週30分×15回	100,000円
	PA個人実技45	週45分×15回	150,000円
グループ	PA(バレエ、ダンス、ピアノデュオ、アンサンブル、室内楽、オペラ、ミュージカル、キーボード・インプロヴィゼーション、キリスト教音楽、教職実技)	週90分×15回	30,000円
		週180分×15回	60,000円
		週270分×15回	90,000円

3. その他

(1) 注意事項

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 後期（10月～3月）以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。（口座振替手数料は本人負担）
- ③ 文学部・国際交流学部においては在籍期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。音楽学部においては在籍期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費50,000円を別途徴収します。
- ④ 社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。

(2) 私費留学生授業料等減免制度

本学では、私費留学生の経済的負担を軽減し、学修に集中できるよう支援することを目的として、授業料や施設設備費を減免する制度を用意しています。

入学年度前期から減免を希望する場合は、次の手続きが必要です。

- (1) 合格通知確認後、入学手続期間中の決められた期間に申請書類を大学に提出の上、書類審査・面接審査を受けてください。
- (2) 上記(1)の面接を受けるに当たり、選考面接予約フォーム（Googleフォーム）から面接日時を予約してください。
- (3) 申請書類の審査及び面接による選考の上、減免採用者を決定します。結果は面接日当日又は翌日に国際課から通知されます。採用者は、決定した入学手続時納付総額を期限までに納入してください。

入学翌年度以降は、学業成績及び主たる家計支持者の年収に基づき、申請書類及び面接による選考の上、採用を決定します。

(3) 寄付金について

フェリス女学院では、入学後に寄付金を募集します（任意）。なお、入学前の募集は行っておりません。

VI. 入学手続後の入学辞退

入学手続時納付金納入手続完了後に入学を辞退したい場合、次の期間に書面をもって申し出た方には、入学手続時納付総額から入学金を除く納付金を返還します。

詳細は「入学の手引き」に記載します。

入学辞退申出期間

2025年1月6日(月)～3月31日(月) 最終日 14:00必着

VII. 単位認定・編入学後の履修

3年次編入学生

出身大学・短期大学等における既修得単位	一括して62単位を上限として認定します。	
卒業に必要な単位	次の必修・選択必修科目を含めて62単位を修得しなければなりません。	
授業科目の履修方法		
CLAコア科目	「キリスト教概論」「キリスト教学」「一神教概論」「フェリス女学院とキリスト教」から4単位 ※上記4科目に代えて、本学が指定する「キリスト教関連科目」を履修することが認められます。	
専門科目 (学科別)	文学部 英語英米文学科	高度な英語科目群及び「英米文化専門講読」6単位 「英米文化専門ゼミ」2単位、「英米文化卒論ゼミ」2単位、「卒業論文」6単位
	文学部 日本語日本文学科	各分野概論から4単位以上 各分野概論、基礎科目群、「基礎論文演習」及び「プレ専門ゼミ」を除く日本語日本文学専門科目から8単位以上 「日本語日本文学専門ゼミ」2単位、「日本語日本文学卒論ゼミ」2単位、「卒業論文」6単位
	文学部 コミュニケーション学科	「コミュニケーション専門ゼミⅠ」2単位、「コミュニケーション専門ゼミⅡ」2単位、 「卒業論文・卒業制作」6単位
	国際交流学部 国際交流学科	「専門演習」4単位、「卒業論文」6単位
	音楽学部 音楽芸術学科	「専門ゼミⅠ～Ⅳ」4単位、「卒業プロジェクト」6単位
語学科目	語学科目は必修ではありません。 1年次生と同じように語学履修コースに所属することはできませんが、希望者は語学科目を履修できます。	
	英語科目	スタンダード科目、選択科目(e科目)は履修できます。 インテンシブ科目は履修できません。
	初習外国語科目 (フランス語、ドイツ語、 スペイン語、中国語、朝鮮語)	インテンシブ科目、スタンダード科目いずれも履修できます。 ※インテンシブ科目の履修には、教員面談(レベル確認など)で許可を得る必要があります。

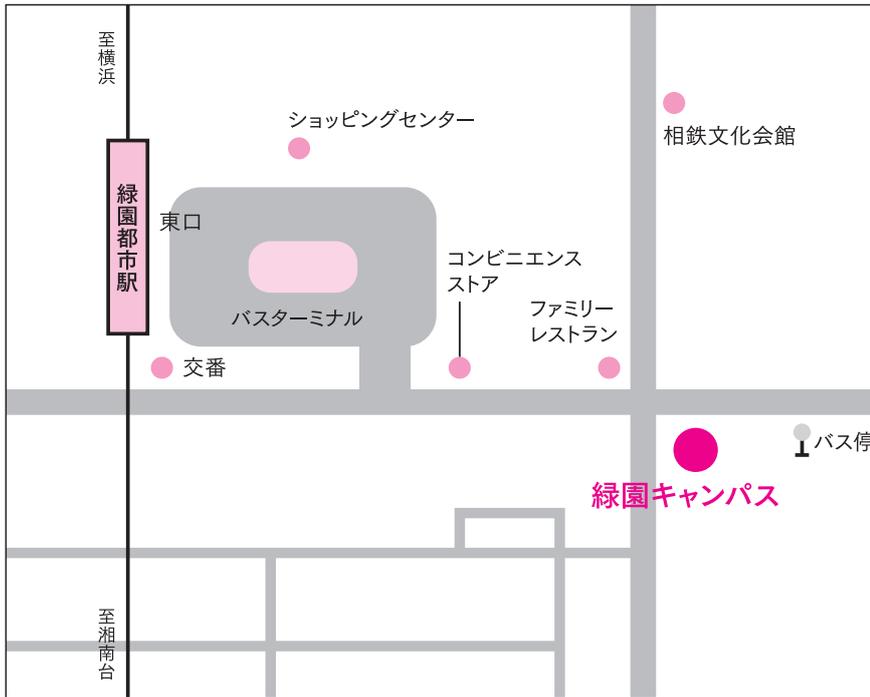
2年次編入学生

出身大学・短期大学等における既修得単位	一括して30単位を上限として認定します。	
卒業に必要な単位	次の必修・選択必修科目を含めて94単位を修得しなければなりません。	
授業科目の履修方法		
CLAコア科目	「キリスト教概論」「キリスト教学」から4単位 キリスト教科目以外から2単位、計6単位以上	
専門科目 (学科別)	文学部 日本語日本文学科	① 各分野概論から12単位以上 ② 基礎科目群及び「基礎論文演習」から3単位以上 ③ 「プレ専門ゼミ」2単位以上 ④ ①～③を除く日本語日本文学専門科目から14単位以上 ⑤ 「日本語日本文学専門ゼミ」2単位、「日本語日本文学卒論ゼミ」2単位 ⑥ 「卒業論文」6単位
	国際交流学部 国際交流学科	① 「基礎演習」2単位 ② 基幹科目から8単位以上 ③ 所属するプログラム(グローバル社会、国際地域文化、SDGs・ライフデザインのいずれか)の推奨科目から6単位以上 ④ ③を含む所属するプログラムの科目を合わせて20単位以上 ⑤ 「専門演習」4単位 ⑥ 「卒業論文」6単位
	音楽学部 音楽芸術学科	① 1～4群から各2単位以上 ② 5群から4単位以上 ③ 「応用演習」1単位 ④ 「専門ゼミⅠ～Ⅳ」4単位 ⑤ ①～④を含む音楽芸術学科専門科目から合計35単位以上 ⑥ 「卒業プロジェクト」6単位
語学科目	語学科目は6単位が必須です。英語、初習外国語の組み合わせは自由ですが、1年次生と同じようにいずれかの語学履修コースに準じて履修することが推奨されます。	
	英語科目	インテンシブ科目、スタンダード科目、選択科目(e科目)いずれも履修できます。 ※インテンシブ科目は、希望者が定員に満たない場合であっても、英語プレイスメント・テストのスコアで選抜を行い、履修許可者を決定します。
	初習外国語科目 (フランス語、ドイツ語、 スペイン語、中国語、朝鮮語)	インテンシブ科目、スタンダード科目いずれも履修できます。 ※インテンシブ科目の履修には、教員面談(レベル確認など)で許可を得る必要があります。

●授業科目の履修方法については入学後のオリエンテーションで説明します。

VII. 試験会場

緑園キャンパス



〒 245-8650 横浜市泉区緑園 4-5-3

- 相鉄いずみ野線：「緑園都市」駅下車徒歩約3分
※特急は「緑園都市」駅に停車しません。
 - ①横浜駅発(快速湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
 - ②横浜駅発(特急又は急行・海老名又は大和行)
→「二俣川」駅乗り換え(湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
 - ③海老名駅又は大和駅発(横浜行)
→「二俣川」駅乗り換え(湘南台行)
→「緑園都市」駅着
(海老名駅から約25分、大和駅から約15分)
 - ④湘南台駅発(各停又は快速横浜行)
→「緑園都市」駅着(12分)
- 相鉄新横浜線：
相鉄いずみ野線「緑園都市」駅徒歩約3分
※特急は「緑園都市」駅に停車しません。
 - ①新横浜駅発(湘南台行)
→「緑園都市」駅着(約25分)
 - ②新横浜駅発(海老名行・大和行又は西谷行)
→「西谷」駅乗り換え(各停又は快速湘南台行)
→「緑園都市」駅着(20分～25分)
- JR横須賀線：
「東戸塚」駅東口から神奈中バス緑園都市駅行で、
「フェリス女学院」下車徒歩約1分(約15分)

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の建学の精神および教育理念を理解し、入学を志願する者が、個性と得意分野を活かして受験できるよう多様な入試制度を設けて選抜を行い、基礎的能力と学修意欲をもつ者を受け入れる。

入学試験では、知識・技能、思考力・判断力、表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価の対象としている。

■ 文学部英語英米文学科

本学科の学びの内容を理解し、次のような目的意識や意欲をもった学生を求める。

1. 英語圏の文化・社会・言語について専門的に学ぶために必要な、基礎的な英語運用能力をもった学生
2. 英語圏の文化・社会・言語について書かれた文章等について考察し、自分の言葉で意見を述べるのできる学生
3. 総合的な英語の授業に積極的に関わるだけでなく、海外留学等を通して、自ら英語力をみがくことをめざす学生

入学者選抜においては、受験生が身に付けた力を幅広く評価することを目的として、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」等において次のような様々な入学試験を行っている。

1. 「一般入試」では、筆記試験等により、高等学校等で身に付けた英語をはじめとする基礎的な学力を評価する。
2. 「共通テスト利用入試」では、大学入学共通テストの成績で合否判定を行い、より幅広い科目設定の上で、基礎的な学力を評価する。
3. 自己推薦型の入学試験「総合型選抜Ⅰ期」では、書類審査および個人面接を試験内容とし、「総合型選抜Ⅱ期」では、小論文および個人面接を試験内容として、高等学校等での日々の学習の成果が備わっているかどうかを重視して評価する。
4. 「学校推薦型選抜」は、書類および面接（口頭試問を含む）からこれまで高等学校等で身に付けた学力および英語英米文学科で学ぶ強い意欲があるかどうかを確認する。
5. 上記のほか、「帰国生徒入試」、「社会人入試」、「留学生入試」、「編入学試験」では、小論文や学科試験で評価する基礎的な学力や思考力・表現力のみならず、面接試験を通して、受験生のこれまでの様々な体験も含めて総合的に判定を行う。

■ 文学部日本語日本文学科

本学科の学びの内容を理解し、次のような目的意識や意欲をもった学生を求める。

1. 日本の文化・社会・言語を専門的に学ぶために必要な、古典を含む日本語・日本文学についての基礎的な知識をもった学生
2. 日本の文化・社会・言語に関心があり、探究する意欲がある学生
3. 日本の文化・社会・言語に関して自分の意見をまとめ、発信することができる学生

入学者選抜においては、受験生が身に付けた力を幅広く評価することを目的として、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」等において次のような様々な入学試験を行っている。

1. 「一般入試」では、筆記試験等により、高等学校等で身に付けた国語をはじめとする基礎的な学力を評価する。
2. 「共通テスト利用入試」では、大学入学共通テストの成績で合否判定を行い、より幅広い科目設定の上で、基礎的な学力を評価する。
3. 自己推薦型の入学試験「総合型選抜Ⅰ期」では、筆記試験および個人面接を試験内容とし、「総合型選抜Ⅱ期」では、小論文および個人面接を試験内容として、高等学校等での日々の学習の成果が備わっているかどうかを重視して評価する。
4. 「学校推薦型選抜」は書類および面接（口頭試問を含む）からこれまで高等学校等で身に付けた学力および日本語日本文学科で学ぶ強い意欲があるかどうかを確認する。
5. 上記のほか、「帰国生徒入試」、「社会人入試」、「留学生入試」、「編入学試験」では、小論文や学科試験で評価する基礎的な学力や思考力・表現力のみならず、面接試験を通して、受験生のこれまでの様々な体験も含めて総合的に判定を行う。

■ 文学部コミュニケーション学科

本学科の学びの内容を理解し、次のような目的意識や意欲をもった学生を求める。

1. 現代社会の様々な事象について、客観的なデータに基づき論理的に考えることができる力をもった学生
2. 現代社会の中の事象に関心があり、探究を推し進め、自らの考えを他者や外部に向けて効果的に発信していくのできる学生
3. 複雑化した情報社会を分析するために必要なメディアリテラシーを身に付けたいと強く考えている学生

入学者選抜においては、受験生が身に付けた力を幅広く評価することを目的として、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」等において次のような様々な入学試験を行っている。

1. 「一般入試」では、筆記試験等により、高等学校等までに身に付けた基礎的な学力、思考力、表現力を評価する。
2. 「共通テスト利用入試」では、大学入学共通テストの成績で合否判定を行い、

より幅広い科目設定の上で、基礎的な学力を評価する。

3. 自己推薦型の入学試験「総合型選抜Ⅰ期」では、筆記試験および個人面接を試験内容とし、「総合型選抜Ⅱ期」では、小論文および個人面接を試験内容として、高等学校等での日々の学習の成果が備わっているかどうかを重視して評価する。
4. 「学校推薦型選抜」は、書類および面接（口頭試問を含む）からこれまで高等学校等で身に付けた学力およびコミュニケーション学科で学ぶ強い意欲があるかどうかを確認する。
5. 上記のほか、「帰国生徒入試」、「社会人入試」、「留学生入試」、「編入学試験」では、小論文や学科試験で評価する基礎的な学力や思考力・表現力のみならず、面接試験を通して、受験生のこれまでの様々な体験も含めて総合的に判定を行う。

■ 国際交流学部国際交流学科

本学科の学びの内容を理解し、次のような目的意識や意欲をもった学生を求める。

1. 国際的な政治・経済・社会・文化のしくみ、環境問題について学ぶために必要な基礎的な知識をもった学生
2. 世界各地域の文化や国際社会の諸問題に対して多面的に考察し、自分の意見をまとめ、発信することができる学生
3. 異なる文化をもつ人々と積極的に交わり、国際交流に関わりたい、国際社会に貢献したいという意欲がある学生

入学者選抜においては、受験生が身に付けた力を幅広く評価することを目的として、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」等において次のような様々な入学試験を行っている。

1. 「一般入試」では、筆記試験等により、高等学校等で身に付けた外国語をはじめとする基礎的な学力を評価する。
2. 「共通テスト利用入試」では、大学入学共通テストの成績で合否判定を行い、より幅広い科目設定の上で、基礎的な学力を評価する。
3. 自己推薦型の入学試験「総合型選抜Ⅰ期」では、書類審査と個人面接による専願型と筆記試験と個人プレゼンテーションによる併願型を実施し、「総合型選抜Ⅱ期」では、小論文および個人面接を試験内容として、大学入学までに身に付けるべき能力が備わっているかどうかを評価する。
4. 「学校推薦型選抜」は書類および面接（口頭試問を含む）からこれまで高等学校等で身に付けた学力および国際交流学科で学ぶ強い意欲があるかどうかを確認する。
5. 上記のほか、「帰国生徒入試」、「社会人入試」、「留学生入試」、「編入学試験」では、小論文や学科試験で評価する基礎的な学力や思考力・表現力のみならず、面接試験を通して、受験生のこれまでの様々な体験も含めて総合的に判定を行う。

■ 音楽学部音楽芸術学科

本学科の学びの内容を理解し、次のような目的意識や意欲をもった学生を求める。

1. 社会に広く関わる視点から音楽を学ぶために必要とされる基礎的な知識と基本的な能力をもちたい学生
2. 社会との関わりを考慮しながら、音楽が果たす文化的・社会的・歴史的役割について分析し、考え、表現する力を身に付けたい学生
3. 幅広いジャンルの音楽に興味をもち、積極的に社会と関わりながら活動する意欲が強い学生

入学者選抜においては、受験生が身に付けた力を幅広く評価することを目的として、「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」等において次のような様々な入学試験を行っている。

1. 「一般入試」では、筆記試験等により、高等学校等までに身に付けた教科書レベルの基礎的な学力を評価する。
2. 「共通テスト利用入試」では、大学入学共通テストの成績で合否判定を行い、より幅広い科目設定の上で、基礎的な学力を評価する。
3. 自己推薦型の入学試験「総合型選抜Ⅰ期」では、基礎的な学力や思考力・表現力をみる小論文及び自己アピール・面接を試験内容とし、「総合型選抜Ⅱ期」では、小論文および個人面接を試験内容として、大学入学までに身に付けるべき能力が備わっているかどうかを評価する。
4. 「学校推薦型選抜」は、書類および面接（口頭試問を含む）からこれまで高等学校等で身に付けた学力および音楽芸術学科で学ぶ強い意欲があるかどうかを確認する。
5. 上記のほか、「帰国生徒入試」、「社会人入試」、「留学生入試」、「編入学試験」では、小論文や学科試験で評価する基礎的な学力や思考力・表現力のみならず、面接試験を通して、受験生のこれまでの様々な体験も含めて総合的に判定を行う。

問い合わせ先
(直通)

- ◇ 入試全般について 入試課 TEL.045-812-9183
- ◇ 学生生活について 学生課 TEL.045-812-9127
- ◇ 留学について 国際課 TEL.045-812-9129
- ◇ カリキュラムについて 教務課 TEL.045-812-9118
- ◇ 学納金・入学辞退時返還金について 総務課 TEL.045-812-8211

平日
月曜日～金曜日
9:00～18:00
※授業期間外は
上記によらない
場合があります。

フェリス女学院大学 入試課